



鶏 鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

イエスの言葉

『わたしは良い羊飼いです。』

良い羊飼いは羊のために命を捨てる』

聖書(ヨハネ福音書10章11節)

牧師 河合裕志

イエスは一寸ゴーマンじゃない？ 自分で自分のことを「良い羊飼いです」なんて言っている。他人からそう評価されるのならいいけれど、これって頂けない。ただどうなんだろう、もし「良い羊飼いです」の基準が「羊のために命を捨てる」ということであればイエスは合格かも。イエスはまさに羊のために命を捨てたんだから。

イエスの国は羊が多く飼われていた。これを牧するのが羊飼いです。ダビデも王になる前は羊飼いをしていた。そんなダビデがサウル王に巨人ゴリアトと戦わせてほしいと願い出た時、王はダビデがまだ若いので心配した。これに対してダビデは自分は今までの羊飼いですとして獅子や熊が羊を襲って来た時にこれを打ち倒しました、だから大丈夫ですと訴えこれが受け入れられる。

羊飼いは時に羊を守るために自分の命をかけることがある。野獣や盗人と戦うことがある。そして場合によっては命を落すことがある。羊飼いですにとって羊達は家族同然であり可愛い可愛い存在。

イエスは先の言葉に続けてこうも言っている。『羊飼いですではなく自分の羊を持たない雇い人は狼が来るのを見ると羊を置き去りにして逃げる。狼は羊を奪いまた追い散ら

す。彼は雇い人で羊のことを心にかけていないからである』。

イエスは、私はそんな雇い人のような羊飼いですじゃないよ。この羊達は私の可愛い羊、私は自分の命をかけてもこれを守るんだ、と言う。

これまで言われて来た羊というのは人間を指している。この人間は私の所有だよとイエスは言っていることになる。だから可愛いくて仕様がなし。この人間を守るためには命を捨てても惜しくない。そして本当に命を捨ててしまった。十字架の上に。こんな人って他にいるだろうか。良い羊飼いです、唯一良い羊飼いですと言わなければならないのでは？

イエスの死、それは人間全部の罪を背負っての死。人間は誰も罪ある存在。心の中で悪いことを考えたり、言葉で人を傷つけたり、良くない事をして来ている。そのまんまでは神に喜ばれない、天国に行けない。滅びが待っているだけ。そこから救い出すためにイエスは人間の罪の全部を背負って十字架につき神の裁きを代って受けた。そして赦しをもたらしてくれた。今や永遠の命が待つばかり。私のために命を捨てた羊飼いを覚えていたいもの。

集会案内

主日礼拝 : 毎日曜日午前10時15分

主日夕拝 : 毎日曜日午後6時

子どもの教会 : 毎日曜日午前9時

中高青年会 : 毎日曜日礼拝後

おしゃべり会 : 毎木曜日午前10時

聖書を学ぶ集い : 第4水曜日午前10時